

【教育目標】

- (1) ふるさとに誇りを持ち、自ら学習を調整することで身につけた資質・能力を活用することにより、地域の活性化に貢献できる人間
- (2) 高い規範意識と活力に溢れ、自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働できる人間

【自校の現状・課題】

- ・全体的な満足度指数が高く、地域からも認知されている。
- ・授業への集中力や先生に質問する意欲が備わっている。
- ・カリキュラムの特色を明確にし、適切な課題や宿題を出すことが求められている。
- ・上級学校進学、公務員、スポーツ系への進路希望が多い。

【地域等からの要望】

- ・連携型中高一貫教育を継続し、今後も交流を深めてほしい。
- ・現在の校風を維持し、これまでの進路実績や地域貢献を維持してもらいたい。
- ・引き続き、規則正しい生活習慣やマナー・ルール遵守の指導を続けてほしい。

【本校において目指す生徒像】（育む資質・能力，身に付けたい力など含む）

- (1) 目標を高く持ち、地域や社会に貢献できる人間。
- (2) 自己を確立するとともに、他者にも心配りのできる思いやりのある人間。
- (3) 健全な精神と体力を備えた心身ともに逞しい人間。

【学習指導方針（スクールポリシー）】

(1) 基礎基本の徹底を進め、応用力の定着を図る。

生徒の理解度や進路希望に合った学び直し教材や発展的教材を精選するとともに、担当者が指導内容や方法についての共通理解を十分に図る。また、指導内容を復習・発展させるための適切な課題・時間を提示し、継続した学習の定着を支援する。

(2) 個々の資質を見極め、能力に合ったきめ細かな指導を行う。

学校生活全般に渡り行動目標を明確にすることで、生徒一人ひとりの達成評価が得られるようにし、自己効力感を高める。また、保護者や地域の諸機関・事業所との連携を密にし、地域参画の意義への理解と将来に向けたキャリア意識の醸成を促す。

(3) 自分の意見や考えを的確に書いたり発表したりする力を見につける。

豊かな表現力が身につくように読書や新聞に親しませ、日頃より国内外の事象に関心を持つよう指導する。さらに、授業や各種活動を通じて、自分の感想や意見を書いたり述べたりするとともに、他者の話を聴く態度を育て、考えを深める力と適切な評価・批判力を身につける。

(4) 他者と協働して学び合う態度を身につける

授業の中で、間違いを恐れず積極的に発言を行い、かつ他者の意見を理解し受け入れる態度を養う。さらに、ICT等を活用しながら、ペアやグループでの学び合いの活動（アクティブ・ラーニング）などを通じて、他者とのコミュニケーションを適切に図り、問題解決のために協働して活動できるようにする。